

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本生命保険相互会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 541-8501 大阪府大阪市中央区今橋3丁目5番12号	
本票作成	部署名：日本生命保険相互会社 不動産部 不動産業務管理G				
主たる業種	分類コード	67	業種名：保険業（保険媒介代理業，保険サービス業を含む）		
事業の概要	生命保険業(免許に基づく保険の引受けおよび資産の運用)および付随業務(他の保険会社その他金融業を行う者の業務の代理または事務の代行等)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日本生命岡山第二・新館ビル		岡山市北区下石井1-1-3	
	②	ニッセイ岡山スクエア		岡山市北区下石井2-2-5	
	③	ニッセイ岡山幸町ビル		岡山市北区幸町7-33	
	④	日本生命倉敷ビル		倉敷市老松町3-10-25	
	⑤	日本生命津山ビル		津山市大手町4-1	
	⑥	玉島東営業部		倉敷市玉島爪崎鉾島北4丁目831-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 28 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和3)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	3,590 t CO <sub>2</sub>	3,156 t CO <sub>2</sub>	3,414 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和3)年度排出量
	①	日本生命岡山第二・新館ビル	1,110 t CO <sub>2</sub>
	②	ニッセイ岡山スクエア	1,069 t CO <sub>2</sub>
	③	ニッセイ岡山幸町ビル	367 t CO <sub>2</sub>
	④	日本生命倉敷ビル	176 t CO <sub>2</sub>
	⑤	日本生命津山ビル	43 t CO <sub>2</sub>
	⑥	玉島東営業部	32 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	11.3 %	4.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積 ※年度途中における取得・売却等の場合は、延床面積に使用月数÷12ヶ月を乗じた数字。	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		0.0664 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )	0.0589 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )	0.0631 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和3年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

2021年度はニッセイ岡山スクエアについて、専用部内・共用部内の照明器具のLED化および空調機の更新(FCUをPACへ変更他)を実施すると共に、引き続き、投資用・営業用(自社使用)ビルにおいて、照明間引きや減灯、空調設定温度の適正化の取組とともに、投資用ビルの入居テナントへの省エネ協力依頼等を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、テナント事業活動がやや回復している。

その結果、電力使用量が基準年度実績より0.7%増加している。なお、中国電力の二酸化炭素排出係数が0.618 t CO<sub>2</sub>/kWhから0.531 t CO<sub>2</sub>/kWhと減少したため、二酸化炭素排出量は基準年度比12.1%減少し、原単位当たりの排出量が基準年度比11.3%減少した。

今後も省エネ・温室効果ガス削減に努めていきたい。  
 (延床面積：基準(R1)年度：54,045.44m<sup>2</sup>)  
 (延床面積：R3年度：53,550.44m<sup>2</sup> 期間中：1ビル廃止(2021年3月末)、追加は無かった)

**【推進体制】**

本社不動産部を中心とした推進体制のもと、計画的な設備更新、運用面での省エネルギー対策及び入居テナントへの省エネルギーに対する協力依頼を実施。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①日本生命岡山第二・新館ビル  ②ニッセイ岡山スクエア  ③ニッセイ岡山幸町ビル  (今後実施予定分) ①ニッセイ岡山スクエア ②全事業所	(令和3年度実施分) ①・共用部通路照明の半灯 ・トイレ便座保温温度と洗浄温水温度の適正化 ・自動販売機の消灯 ・専用部の不要照明消灯や空調設定温度の適正化 ②・7月より段階的に各階専用部・共用部照明器具のLED化、およびFCUをPACへ更新、空調機本体を省エネタイプへ更新 ・1階エントランスや屋上の照明消灯及び各階エレベータホールの半灯 ・1階エントランスの空調停止 ・トイレ便座保温温度と洗浄温水温度の適正化 ・自動販売機の消灯 ・専用部の照明間引きや空調設定温度の適正化 ③・共用部通路照明の半灯 ・1階エントランスの空調停止 ・トイレ便座保温温度と洗浄温水温度の適正化 ・自動販売機の消灯 ・専用部の照明間引きや空調設定温度の適正化及び不要空調の停止  (今後実施予定分) ①・2021年度より引き続き段階的に各階専用部・共用部照明器具のLED化、およびFCUをPACへ更新、空調機本体を省エネタイプへ更新 ②・照明の減灯や間引き ・空調設定温度の適正化 ・未使用機器の待機電力抑制

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	県内7箇所で行っている森林づくり事業を行っており、植栽後、10年を経過した森を対象に林業事業体の力を借りながら現地調査を行い、それぞれの生育状況を把握することに努め、計画的に育樹作業を行っている。
その他	有	ニッセイ緑の財団とともに1992年から森づくりに取り組んでいる。これまでに植えた苗木は137万本を超え、“ニッセイの森”は46都道府県の203カ所(約467.9ha)に広がっている。また、緑化への取組を積極的に行っている自治体と協力し、植樹・育樹へも力を入れている。

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	有	日本生命本店東館と丸の内ビルでは、当該ビルの使用する電力の全量について電力会社が供給するグリーン電力を採用。今後も順次、主要本部ビルを中心に、再生可能エネルギーの導入を検討

**【その他特記事項】**

- ・営業拠点建て替え時の環境性能向上…ZEB-Ready水準での建て替え
- ・営業拠点への太陽光パネル・蓄電池の設置推進